

令和6年度
毛呂山町農業集落排水事業会計
決算審査意見書

毛呂山町監査委員

令和6年度毛呂山町農業集落排水事業会計決算審査意見書

第1章 審査の概要

1 審査の対象

令和6年度毛呂山町農業集落排水事業会計決算
(地方公営企業法が令和6年度から適用)

2 審査実施期日

令和7年6月24日

3 審査場所

毛呂山町役場 301会議室

4 審査の手順及び方法

審査に当たっては、審査に付された決算報告書及び附属書類に関し、①地方公営企業法及び関係法令の規定の主旨に沿って作成されたか、②その計数は、関係帳簿と符合しているか、③農業集落排水事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証した。その際には、関係諸帳簿、証書類等との照合を行い、関係職員の説明を求め実施した。

第2章 審査の結果

審査に付された決算及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数は関係帳簿と符合しており、また経営成績及び財政状態をおおむね適正に表示しているものと認められた。

なお、事業の概況、予算の執行状況、経営成績及び財政状態等は、次のとおりである。

1 事業の概況

(1) 業務実績

令和6年度末における接続戸数は170戸で、前年度と比較すると1戸（0.6％）の増加、水洗化人口は387人で、前年度と比較すると155人（28.6％）の減少となっている。これは主に、企業会計導入に伴い、人口割合に基づく算定方法に変更したためである。年間処理水量は41,983㎥で、前年度と比較すると303㎥（0.7％）の減少となっている。年間有収水量は41,884㎥で、前年度と比較すると1,609㎥（3.7％）の減少となっている。有収率は99.8％で、前年度と比べ、3.0ポイントの減少となっている。

業務実績

区 分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度	
			増減 (A)－(B)	増減率(%) $\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$
接 続 戸 数 (戸)	170	169	1	0.6
行 政 区 域 内 人 口 (人)	31,865	32,206	△341	△1.1
水 洗 化 人 口 (人)	387	542	△155	△28.6
年 間 処 理 水 量 (㎥)	41,983	42,286	△303	△0.7
年 間 有 収 水 量 (㎥)	41,884	43,493	△1,609	△3.7
有 収 率 (%)	99.8	102.9	△3.0	△3.0

注1 有収率＝年間総有収水量/年間総処理水量×100

注2 令和6年度水洗化人口は、人口割合に基づく算定方法で算定した。

(2) 建設工事等

令和6年度の建設工事の総額は、6,644,000円である。

内容は、積算プリンター更新工事2,750,000円、水位計交換工事2,596,000円、曝気槽攪拌機交換工事1,298,000円、となっている。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収益的収入

決算額は41,106,948円で、予算額40,990,000円に対する収入率は100.3%となっている。なお、決算額には仮受消費税及び地方消費税として393,348円が含まれている。

収益的収入の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)－(A)	収入率 (B)/(A)×100
農業集落排水事業収益	40,990,000	41,106,948	116,948	100.3
営 業 収 益	4,548,000	4,326,828	△221,172	95.1
営 業 外 収 益	36,442,000	36,780,120	338,120	100.9

イ 収益的支出

決算額は39,070,852円で、予算額40,990,000円に対する執行率は95.3%となっている。不用額は1,919,148円である。また、特別損失573,977円は、令和5年度消費税及び地方消費税、令和6年6月支給分の期末・勤勉手当引当金相当額及び共済組合負担金相当額である。なお、決算額には仮払消費税及び地方消費税として1,028,062円が含まれている。

収益的支出の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A)－(B)	執行率 (B)/(A)×100
農業集落排水事業費用	40,990,000	39,070,852	1,919,148	95.3
営 業 費 用	38,256,987	36,756,876	1,500,111	96.1
営 業 外 費 用	1,956,000	1,739,999	216,001	89.0
特 別 損 失	577,000	573,977	3,023	99.5
予 備 費	200,013	0	200,013	0

(2) 資本的収入及び支出

ア 資本的収入

決算額は16,841,000円で、予算額16,989,000円に対する収入率は99.1%となっている。

資本的収入の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B)－(A)	収入率 (B)/(A)×100
資 本 的 収 入	16,989,000	16,841,000	△148,000	99.1
分 担 金	148,000	0	△148,000	0.0
負 担 金	7,588,000	7,588,000	0	100.0
補 助 金	9,253,000	9,253,000	0	100.0

イ 資本的支出

決算額は20,440,472円で、予算額23,975,000円に対する執行率は85.3%となっている。なお、地方公営企業法第26条の規定による繰越額はなかった。予算額から決算額を減じた不用額は3,534,528円である。なお、決算額には仮払消費税及び地方消費税として604,000円が含まれている。

資本的支出の決算状況（税込）

（単位：円、％）

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)－(B)+(C)	執行率 (B)/(A) ×100
資本的支出	23,975,000	20,440,472	0	3,534,528	85.3
建設改良費	10,178,000	6,644,000	0	3,534,000	65.3

ウ 資本的収支及び補てん財源

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3,599,472円は、引継ぎ金3,543,374円、当年度分損益勘定留保資金56,098円で補てんされている。

3 経営成績

経営成績を示す損益計算書（消費税及び地方消費税抜）構成は、別表1のとおりである。

（１）総収益

総収益は40,713,600円であり、内訳は、営業収益3,933,480円、営業外収益36,780,120円である。なお、営業外収益の内、町からの負担金が866,000円、補助金が20,294,000円である。

（２）総費用

総費用は38,677,504円で、内訳は、営業費用35,728,814円、営業外費用2,374,713円、特別損失573,977円である。

（３）純利益（純損失）

総収益から総費用を差し引いた当年度の純利益は2,036,096円となった。

（４）汚水処理原価等

総費用38,677,504円を有収水量41,884m³で除した1m³当たりの汚水処理原価は923円44銭であり、排水収益3,933,480円を有収水量41,884m³で除した1m³当たりの排水収益（使用料単価）は93円91銭である。

(5) 経営分析

ア 経営状況

農業集落排水事業の収益性を見ると、営業収支比率は11.0%、総資本収益比率は3.4%となっている。

事業の経営状況

区 分	令和6年度	算式
営業収支比率(%) ^(注1)	11.0	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
総資本収益比率(%) ^(注2)	3.4	$\frac{\text{当年度純利益(純損失)}}{(\text{期首}+\text{期末総資本}) \div 2} \times 100$

注1 営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示し、この比率が高いほど経営状況がよく、100%未満の場合は営業損失が生じていることを意味している。

注2 総資本収益比率は、総資本の収益性を見るもので、経常的な収益力を総合的に表す指標であり、この指標が高いほど総合的な収益性が高い。

イ 施設の利用状況

施設の利用状況を見ると、施設利用率は52.3%となっている。

施設の利用状況

区 分	令和6年度	算式
施設利用率(%) ^(注1)	52.3	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日処理能力}} \times 100$

注1 施設利用率は、施設の利用状況や適正規模を判断する指標であり、その比率が高いほど効率的であるとされている。

(6) 経営指標

経営指標を見ると、経常収支比率は106.8%、経費回収率は20.8%、有形固定資産減価償却率は51.5%、管渠老朽化率は0%となっている。

経営指標の推移

区分	令和6年度	算式
経常収支比率 ^(注1) (%)	106.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
経費回収率 ^(注2) (%)	20.8	$\frac{\text{使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分除く)}} \times 100$
有形固定資産減価償却率 ^(注3) (%)	51.5	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却対象資産原価}} \times 100$
管渠老朽化率 ^(注4) (%)	0	$\frac{\text{法定耐用年数経過延長布設延長}}{\text{法定耐用年数経過延長}} \times 100$

注1 収益で、維持管理や支払い利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標で、収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要である。

注2 污水处理に係る費用が、どの程度使用料で賄えているかを表す指標で、100%を下回っていると污水处理に係る費用が使用料以外の収入で賄われていることになる。

注3 資産の老朽化度合いを表す指標で、一般的に数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いとされる。

注4 法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標で、一般的に数値が高い場合、法定耐用年数を経過した管渠を多く保有している。

4 財政状態

財政状態を示す貸借対照表構成は別表2、現金預金の増減要因を示すキャッシュ・フロー計算書は別表3のとおりである。

(1) 資産

資産総額は524,737,114円で、資産総額のうち固定資産は516,449,322円、流動資産は8,287,792円である。

(2) 負債

負債総額は462,056,564円で、負債総額のうち固定負債は63,374,252円、流動負債は16,563,346円である。

なお、当年度末未払金3,162,797円は、令和7年6月24日現在で、未払消費税分117,900円を除く全額を支払い済である。

(3) 資本

資本総額は62,680,550円で、資本総額のうち資本金は31,617,809円、剰余金は31,062,741円である。

(4) 未収金

当年度末未収金は720,942円で、排水使用料719,114円、一般会計からの人件費戻入分1,828円である。

なお、この未収金は、令和7年4月末現在で693,948円が収納されている。

(5) 企業債

企業債は、前年度末未償還残高90,013,039円に対して、令和6年度中に13,796,472円の償還を行い、当年度末未償還残高は76,216,567円となっている。

5 資金の状況

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度業務活動の結果、6,288,593円となっている。これは、資金が減少しない減価償却費17,868,383円、当年度純利益2,036,096円等から、営業活動による取引の増減を加減したものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当年度投資活動の結果、10,801,000円となっている。これは固定資産の取得による支出で△6,040,000円、他会計からの負担金及び補助金による収入16,841,000円によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当年度財務活動の結果、△13,796,472円となっている。これは企業債の償還による支出によるものである。

その結果、資金期首残高4,278,056円から3,293,121円の資金増加となった。なお、資金期末残高7,571,177円は、貸借対照表における現金預金の金額と符合している。

第3章 総評

農業集落排水事業決算は地方公営企業法が令和6年度から適用され、公営事業会計に移行後、初の決算となる。

令和6年度毛呂山町農業集落排水事業会計決算における経営成績を見ると、純利益は2,036,096円の黒字であった。しかしながら、経営の健全性を示す経常収支比率は106.8%で、健全経営の水準とされる100%を上回っているが、一般会計からの繰入金に頼った経営となっており、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は20.8%と100%を大きく下回っており費用を使用料で賄えていない状況である。

公営企業会計の適用により、経営成績及び財務状況を的確に判断することが可能となることから、将来も踏まえた経営分析を行いながら経営に取り組むことを望む。

別表1

令和6年度毛呂山町農業集落排水事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1. 営業収益	円	円	円
(1) 農業集落排水使用料	<u>3,933,480</u>	3,933,480	
2. 営業費用			
(1) 処理場費	9,725,755		
(2) 業務費	264,940		
(3) 総係費	7,531,236		
(4) 減価償却費	17,868,383		
(5) 資産減耗費用	338,500		
(6) その他営業費用	<u>0</u>	<u>35,728,814</u>	
営業損失			△ 31,795,334
3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	0		
(2) 負担金	866,000		
(3) 補助金	20,294,000		
(4) 長期前受金戻入	15,620,120		
(5) 雑収益	<u>0</u>	36,780,120	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,622,099		
(2) 雑支出	<u>752,614</u>	<u>2,374,713</u>	<u>34,405,407</u>
経常利益			2,610,073
5. 特別損失			
(1) その他特別損失	<u>573,977</u>	<u>573,977</u>	<u>△ 573,977</u>
当年度純利益			2,036,096
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>0</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>2,036,096</u></u>

別表2

令和6年度毛呂山町農業集落排水事業貸借対照表
(令和7年3月31日)

資 産 の 部			
1. 固 定 資 産	円	円	円
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地	22,259,645		
ロ 建 物	190,662,392		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 76,433,852</u>	114,228,540	
ハ 構 築 物	598,725,084		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 245,714,168</u>	353,010,916	
ニ 機 械 及 び 装 置	229,056,000		
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 202,105,779</u>	26,950,221	
ホ 建 設 仮 勘 定	0		
有 形 固 定 資 産 合 計		<u>516,449,322</u>	
固 定 資 産 合 計			516,449,322
2. 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		7,571,177	
(2) 未 収 金	720,942		
(3) 貸 倒 引 当 金	<u>△ 4,327</u>	<u>716,615</u>	
流 動 資 産 合 計			<u>8,287,792</u>
資 産 合 計			<u><u>524,737,114</u></u>
負 債 の 部			
3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債		<u>63,374,252</u>	
固 定 負 債 合 計			63,374,252
4. 流 動 負 債			
(1) 未 払 金		3,162,797	
(2) 企 業 債		12,842,315	
(3) 引 当 金			
イ 賞 与 引 当 金	469,437		
ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	88,797		
ハ そ の 他 引 当 金	<u>0</u>	<u>558,234</u>	
流 動 負 債 合 計			16,563,346
5. 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		836,274,291	
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額		<u>△ 454,155,325</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>382,118,966</u>
負 債 合 計			<u><u>462,056,564</u></u>

資 本 の 部

6. 資 本 金	円	円	円	円
(1) 固 有 資 本 金			<u>31,617,809</u>	
資 本 金 合 計				31,617,809
7. 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 国 県 補 助 金	22,259,645			
ロ 分 担 金	4,158,000			
ハ 負 担 金	0			
ニ 補 助 金	<u>2,609,000</u>			
資 本 剰 余 金 合 計			29,026,645	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	0			
ロ 建 設 改 良 積 立 金	0			
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>2,036,096</u>			
利 益 剰 余 金 合 計			<u>2,036,096</u>	
剰 余 金 合 計				<u>31,062,741</u>
資 本 合 計				<u>62,680,550</u>
負 債 ・ 資 本 合 計				<u><u>524,737,114</u></u>

令和6年度 毛呂山町農業集落排水事業キャッシュ・フロー計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

1 当年度純利益 (△は純損失)	2,036,096 円
2 営業活動から得た現金預金の調整	
(1) 減価償却費	17,868,383 円
(2) 固定資産除却費	338,500 円
(3) 引当金の増減額	
・賞与引当金の増減額 (△は減少)	469,437 円
・法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	88,797 円
・貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,327 円
(4) 長期前受金戻入額 (△)	△ 15,620,120 円
(5) 支払利息等	1,622,099 円
(6) 受取利息・配当金等 (△)	0 円
(7) 未収金の増減額 (△は増加)	△ 675,203 円
(8) 未払金の増減額 (△は減少)	2,382,376 円
(9) 特定収入に係る消費税調整額	<u>△ 604,000 円</u>
小 計	5,874,596 円
3 営業活動以外から得た現金預金の調整	
(1) 利息及び配当金の受取額	0 円
(2) 利息の支払額 (△)	<u>△ 1,622,099 円</u>
小 計	△ 1,622,099 円
業務活動によるキャッシュ・フロー (1+2+3)	6,288,593 円

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

1 固定資産取得による支出 (△)	△ 6,040,000 円
2 他会計からの負担金による収入	7,588,000 円
3 他会計からの補助金による収入	<u>9,253,000 円</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,801,000 円

Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー

1 分担金による収入 0 円

2 企業債の償還による支出 (△) △ 13,796,472 円

財務活動によるキャッシュ・フロー △ 13,796,472 円

Ⅳ 資金増減額 (△は減少) 3,293,121 円

Ⅴ 資金期首残高 4,278,056 円

Ⅵ 資金期末残高 7,571,177 円